



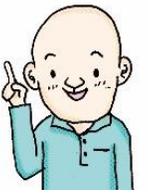
こまえをこぼげる

# こまつなNEWS

わかりやすい政治を伝える維新の会の政治活動(ミッション)は、狛江市民の方に広く市政に関心を持っていただくこと。こまつなNEWSの編集方針は、広く市民の皆様へ政治への関心をお寄せいただくことです。

VOL.76  
2024年8月号

発行:責任編集  
狛江市岩戸北  
3-18-8-701  
分かりやすい  
政治を伝える  
維新の会



## “狛江駅前、緑の景観が変わってしまうの？”

“どうか、狛江駅北口噴水広場周辺の樹を切らないでください”、こうしたお声を、多くの市民のみなさまからいただいたおりましたが、樹木の一部伐採剪定には相応の理由があります。詳細は裏面に記させていただきました。そして何よりもミヤケは、市民の方にきちんとお伝えしたいと思います。

## “いいえ、緑地を活かしたまちづくりが始まります”

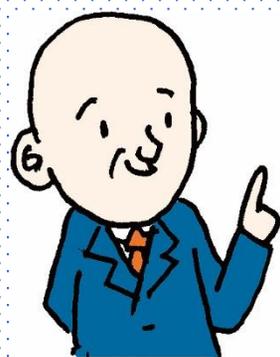
3年前の狛江市議会(令和3年2月26日)でミヤケは“狛江に新しい景色が生まれるチャンスとして、ほこみちを検討してほしい”と市に提案しました。国内でも比類ない駅徒歩0分に広がる駅前緑地を活かしたまちづくりこそ、こまえに相応しいという思いからです。だからこそ、ほこみち道路工事によって、駅前の緑空間が変わってしまうと思う方がいらしたら、「それは違うんですよ」と事実を正確にお伝えしていかななくてはなりません。そうした思いで、狛江市にお願いして、

## 狛江駅北口周辺、来春お目見えする空間イメージ

を描き起こしてもらいました。ほこみち道路工事終了後の令和7年4月、新しい狛江駅前の景色にご期待ください。



資料提供:狛江市



狛江駅北口噴水付近、狛江市歩道上の樹木伐採は管理面、安全面(※)で課題がある樹木(下記の写真右側で茶色く着色した樹木)に限定して行われます。また、剪定は樹木全体に日照や通風を確保して健全な生育状態を保つために行われます。

(※)管理面とは、道路部と緑地保全地区にまたがって成長して、管理者が不明瞭で将来的に管理に支障が出る可能性がある樹木。  
(※)安全面とは、強風時における枝の落下などの危険要素を未然に防ぐ観点から樹幹が傾斜している樹木。



9月以降の工事では、老朽化が進んだ噴水設備は撤去され、下記図面のようなデッキベンチが年度内に敷設されます。来春には市民のみなさまが公共空間を存分に使いこなしていただくほこみちが、いよいよ本格的にスタートします。

